



日本磁器誕生・有田焼創業400年事業

H28年度事業計画

(H28. 5現在)

日本磁器誕生・有田焼創業400年事業実行委員会

記念セレモニー — 記念式典・レセプション —

事業計画

- 概要
有田焼創業400年の歴史と伝統を築いてこられた先人の偉業と労苦に感謝するとともに顕彰し、次の100年に向けた有田焼の発展につなげていくため、国内外の関係者を招待し、記念式典を開催する。
- 開催時期
平成28年10月22日（土）式典14：00～、レセプション15：30～
- 開催場所
焔の博記念堂（記念式典：文化ホール、レセプション：コンベンションホール）
- 実施主体
主催：日本磁器誕生・有田焼創業400年事業実行委員会
共催：佐賀県、有田町
後援：伊万里市・唐津市・武雄市・嬉野市・多久市・佐世保市・波佐見町、他報道機関等
- 招待人数
350人（国・県機関、関係各国大使・領事、姉妹都市関連、窯業界、経済界、400年事業関係者等）
- 内容
式典：①オープニング ②あいさつ ③講演ほか
レセプション：①あいさつ ②会食（地元飲食店による地元食材・有田焼器を使った饗宴） ③アトラクション



※翌日10/23（日）開催の有田皿山まつりとも連携する。

個別事業概要【主催事業】

記念セシモニー — タイムカプセル（開封・封かん） —

事業計画

■概要

有田焼創業350年事業の一環として落成された先人陶工の碑の基壇に埋設されている当時の収納物のうち、2016年に開封することとされている一部の開封式を行い、収納物の一般公開を行う。また、次の50年・100年に向けて新たな収納物を埋設する封かん式を行う。



■開催時期

開封式：平成28年7月30日（土）、一般公開：平成28年8月ほか、封かん式：平成29年3月

記念セシモニー — 記念誌等 —

事業計画

■概要

有田焼創業400年を記念し、有田焼400年の歴史に触れつつ、次世代に向けての思い等を盛り込む。（※詳細検討中）

記念セシモニー — 感謝祭 —

事業計画

■概要

有田焼創業400年を記念し、町民・地元関係者を対象にした祝賀感謝祭を行う。（※詳細検討中）

■開催時期・場所

平成28年10月23日（日） 有田町文化体育館周辺 午前：式典 午後：皿山まつりと連携

個別事業概要【主催事業】

有田焼の展示・催事 — 400年有田の魅力展 —

事業計画

- 概要
全国の主要百貨店において有田焼の付加価値や魅力を多くの人に発信し、今後の販路拡大に繋がる関係や体制等を再構築するきっかけとする。

- 開催時期・場所等

- ・大分：トキハ本店 8階中央・南催場（約150坪）
平成28年5月20日（金）～5月24日（火）

- 企画 ①現代有田の名匠作品展

重要無形文化財保持者（人間国宝）から有田陶芸協会所属の陶芸作家まで、現代有田を代表する秀作を紹介。

- ②有田焼名窯特集

有田を代表する名窯による代表作品や特別企画品などの展示・販売。

- ③400年特別企画商品

スクエアプレート・おてしよ皿の展示・販売。

- ④暮らしを彩る有田

日々の暮らしに役立つ器の展示・販売。

- ⑤有田焼製作実演（ろくろ・上絵付け）

- ⑥碗琴演奏



有田焼の展示・催事 — 400年有田の魅力展 —

■開催時期・場所等

- 東京：東武百貨店池袋店 8階催事場（約300坪）
平成28年6月23日（木）～6月28日（火）
（企画案）①ARITA 400th history（様式による有田焼歴史展） ②現代有田の名匠作品展
③有田焼名窯特集 ④有田焼企画商品 ⑤名窯十産直 ⑥暮らしの中の有田焼
⑦古美術・骨董 ⑧有田焼製作実演（ろくろ・絵付け） ⑨上絵付けワークショップ
⑩ギャラリートーク など
- 大阪：近鉄百貨店（あべのハルカス）ウイング館9階催会場・タワー館11階（300坪超予定）
平成28年7月13日（水）～7月19日（火）
（企画案）①有田焼歴史展 ②有田名匠陶芸展 ③有田名窯特集 ④窯元・商社特別企画
⑤有田焼製作実演（ろくろ・絵付け） ⑥上絵付けワークショップ ⑦ギャラリートーク
⑧有田焼テーブル・コーディネート講習 など
- 佐賀：佐賀玉屋 6階催事場（約200坪）
平成28年8月13日（土）～8月21日（日）
（企画案）～佐賀の子供たちに伝えたい有田の歴史と魅力～
①有田400年の歴史展 ②現代有田の名匠作品展 ③有田焼名窯特集 ④窯元・商社特別企画
⑤物故作家展 ⑥有田焼製作実演（ろくろ・絵付け） ⑦子供絵付け体験ワークショップ
⑧記念トークショー など
（会期前）①親子で有田焼探索ツアー ②有田焼子供絵付けコンテスト
- 広島：福屋百貨店八丁堀本店 7階・8階催事場、美術画廊（300坪超予定）
平成28年9月8日（木）～9月13日（火）
（企画案）①有田焼の歴史展 ②歴代人間国宝等の作品紹介 ③現代有田の名匠作品紹介 ④有田名窯特集
⑤窯元・商社特別企画商品 ⑥有田焼に関するトークショー など



観光集客イベント ー有田まちなかフェスティバルー

事業計画

■開催時期 平成28年10月1日～11月30日

■概要

- ・【実施主体】 (株)有田まちづくり公社
- ・【内容】 来訪者や観光客をもてなす、楽しませる観光プログラム・イベント
- ・【規模】 観光プログラム：H28年度 80件 参加人数規模：20,000人
- ・【料金】 各観光プログラム・イベントは、有料参加とする。
- ・【プログラム】 プレイヤー候補の方と有田まちづくり公社が共同でつくる。
 - ①町民が主体的につくる「観光プログラム」 80件
 - ②集客力、メディア露出の高い「主催者によるイベント」
 - ③街中を回遊する「有田まちなか博物館」
- ・【関連事業】 有田焼の全てを見せる展示会（仮称）
 - (1) 人間国宝から個人作家また各窯元までの展示会
 - (2) 有田焼の新しい商品開発の記録展
 - ※上記(1)(2)については、関係機関（陶芸協会等）との調整を行うとともに、佐賀県が、8月11日（木）～11月27日（日）に九州陶磁文化館で計画されている「USEUM ARITA」と連携し、町なかへの回遊仕組みを検討する。
 - (3) 子ども陶芸展
 - ※未来へつなぐ企画（子どものための企画）で検討中。

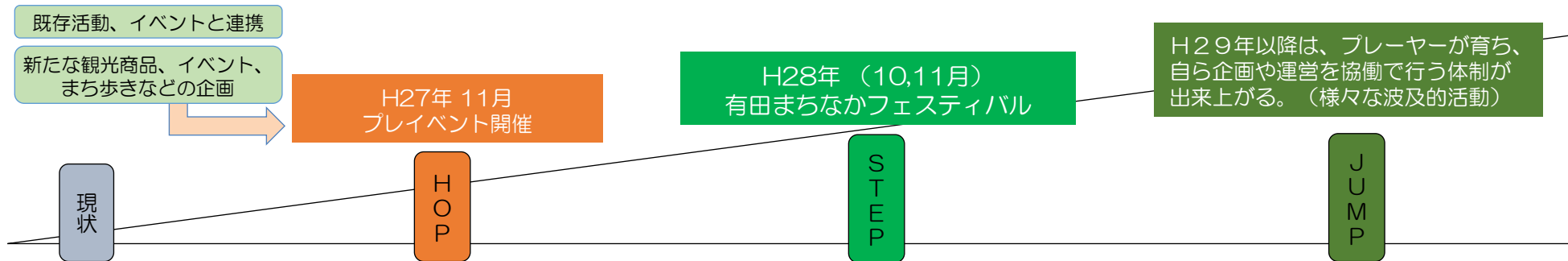
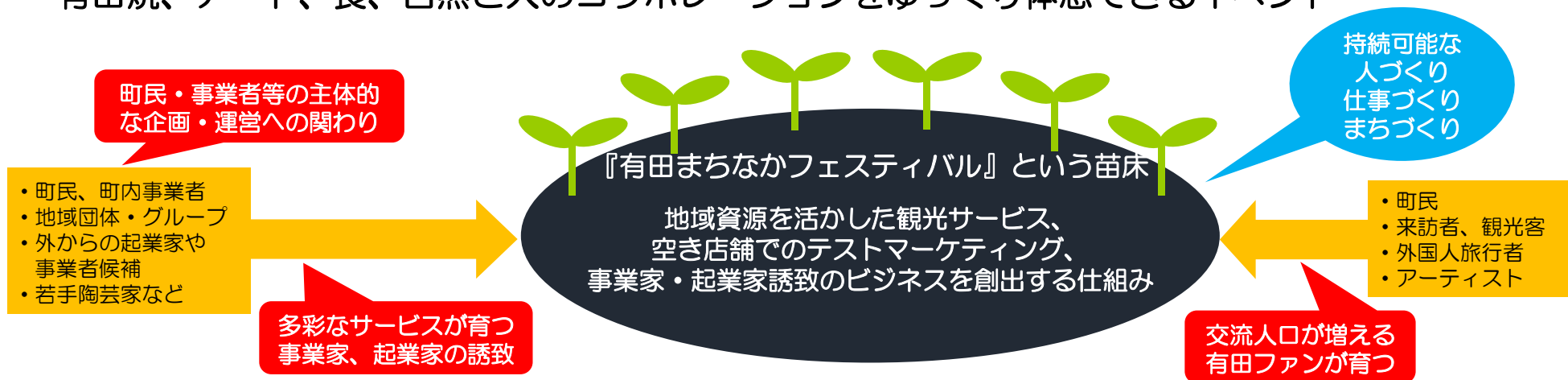
個別事業概要【主催事業】

観光集客イベント — ① 町民が主体的につくる「観光プログラム」 —

観光まちづくりのスタートとして継続的な地域活性化につなげるため、地域住民・事業者等の主体的な企画と運営による有田の地域資源を活用した様々な体感・体験型のプログラムも盛り込む。

新たな観光サービスの創出や担い手づくりにつながる仕組みづくりの場として、魅力満載の催事を開催する。

400年の歴史ある伝統的な町並みや町全体をパビリオンにとらえ、有田焼、アート、食、自然と人のコラボレーションをゆっくり体感できるイベント



有田焼創業400年を機に「有田」をPRし、観光客誘致に繋がる事業を実施する。

① テレビ番組の誘致

出張！なんでも鑑定団in有田町 収録日：平成28年9月10日(土) 焔の博記念堂文化ホール

② テレビ局とのタイアップによる番組制作

毎週放送番組(3分×5回:1ヶ月間)、特別番組(55分×1回)の制作(※詳細検討中)

③ アーティスト招聘によるイベント実施

話題性のあるアーティスト招聘による音楽イベントの実施(※詳細検討中)

観光集客イベント — ③ 街中を回遊する「有田まちなか博物館」 —



古い町並みが残る有田町の「伝統的町並み保存地区」を中心に、有志により古い民家や庭園、家に眠る歴史的・文化的価値の高い美術品等の一般開放を行う。

普段は見る事が出来ない旧家屋、貴重な美術・文化資料を、ある期間のみ閲覧することができる。また、ガイドの案内によるまち歩きで、閲覧することもできる。

・期間：ありフェス期間中(数日～週間単位)

・参画：20軒程度を自由に内覧できる。
ただし、まち歩きガイドによる案内で内覧する家屋もある。

・入場無料



未来へつなぐ企画 — 子どものための企画 —

事業計画

■概要

将来を担う子ども達が、有田焼や有田町の歴史・伝統・文化等について学び、知ることによって、地域の良さを再発見し、郷土に対する愛着を持ち、誇りに思う心情を育てる。

※各事業について、学校の協力体制のもと進めていく。

●有田キッズ検定

平成28年6月初旬

平成28年度の町内4小学校 5年生と6年生の希望者を対象に、検定試験を実施。

参加賞の磁器製メダルと合格認定書の贈呈。併せて観光案内研修を夏休み期間中に行い、有田まちなかフェスティバルで大人のガイドと共に取り組む。

●皿山まつりパレード参加

平成28年10月23日（日）

有田の伝統芸能である皿踊りを次世代に継承していくために、平成28年の皿山まつりパレード・お祭り広場に、町内6小中学校から約1,000人参加する。（※詳細検討中）

●スケッチ画のデジタル映像化

子ども達によるスケッチ画のデジタル化。

有田まちなかフェスティバル期間中に展示し、多くの方に鑑賞してもらう。

●やきもの体験&陶芸展

平成28年夏～秋

夏休み期間中に希望者を募って、焼き物工程見学及び製作を体験し、作品を完成させる。

有田まちなかフェスティバル期間中に作品を展示し、多くの方に鑑賞してもらう。



個別事業概要【協賛・連携事業】

協賛事業 — やる気モリモリ支援事業 —

■概要

地域住民等の主体的な地域活性化の取組みを推進するため、町内に活動の拠点を置く各種団体等が、有田焼創業400年を迎えた町を盛り上げるために自主的に実施する創意と工夫を凝らした事業に対して、支援金を交付する。

協賛事業 — その他の協賛・後援事業 —

■概要

実行委員会以外の事業主体が主体的に実施する事業で、実行委員会の取組方針等にも合致し、有田焼創業400年に関連付けて実施されることでその効果を相互に共有できる事業について、協力・支援を行う。

連携事業 — 連携事業 —

■概要

実行委員会以外の事業主体が主体的に実施する事業で、有田焼創業400年事業の広域的な情報発信等の効果が期待できる事業について、実行委員会として連携を図って取り組む。

その他【参考】

町補助事業 — 既存イベント等の拡充 —（※実行委員会会計ではなく、町所管の既存事業補助金に上乘せ）

■概要

平成28年度中に行われる主要な既存イベントを400年記念として拡充開催することにより、記念イヤーを盛り上げ、有田町の魅力を更に多くの人に発信する。また、拡充開催により改めて既存イベントを見つめ直し、更なる発展に繋がることを期待する。

【対象とする既存イベント】○有田陶器市 ○有田夏まつり ○有田皿山まつり ○有田秋の陶磁器まつり
 ○有田・食と農業まつり ○有田雛のやきものまつり

— 広報宣伝活動 —

■ 基本的な考え方

- ・ 関係機関、関係団体等とも連携しながら、創業400年を迎えた有田焼及び有田町の魅力が広域的に、また幅広い層の方々に認知されるように、積極的な広報宣伝活動を展開する。
- ・ 効果的な広報宣伝手段、媒体等を活用した広報宣伝活動を展開する。
- ・ 町民及び関係者等自らが広報宣伝、情報発信源となるような取組みなど、マンパワーを十分に活かした展開を図る。

■ 広報宣伝の方法等

① イベント等による広報宣伝

各種イベント等の開催や既存のイベント等とも連携して、積極的な広報宣伝活動を展開する。

- ・ 「400年有田の魅力展」の開催に合わせた首都圏等でのPRイベント
- ・ その他、県や関係団体及び地域のイベント等との連携

② 多様なメディアによる広報宣伝

多様なメディアを活用し、迅速かつ広域的な広報宣伝活動を展開する。

- ・ テレビ、ラジオ等による広報宣伝活動の推進
- ・ 新聞、雑誌等による広報宣伝活動の推進

③ 印刷物・掲出物等による広報宣伝

各種印刷物や掲出物等を制作して、積極的な広報宣伝活動を展開する。

独自の印刷物や公共の広報誌だけでなく、民間の情報誌等にも積極的に情報を提供して活用する。

④ その他の広報宣伝

- 町民、関係者等の参加、協力による広報宣伝活動の推進を図る。
- PR用のノベルティグッズ等を製作、配布して、広く浸透を図る。

